

No.とプログラム名	<b>No.12 「夏休み石の勉強会」</b>
実施日・回数	8月7日（水）午後 計1回実施
会場	かながわ県民センター 305会議室
参加児童数	43人
企業・団体等名	神奈川鉱物研究会
参加の目的 (150文字程度)	子供たちに石の面白さを知ってもらう

## ■ プログラム内容

石とは何かをスライドを使って説明（プリントでも配布）した後、石を使った観察や実験を行いました。

## ■ 当日の流れ（簡単に記載してください）

13：00 受付

13：30 スライドショー開始、途中石の観察や実験

14：15～14：30 休憩

14：30～15：10 子供が持参した石の鑑定会、  
アンケート作成と質問受付

15：30 終了



「石とは何か」説明中

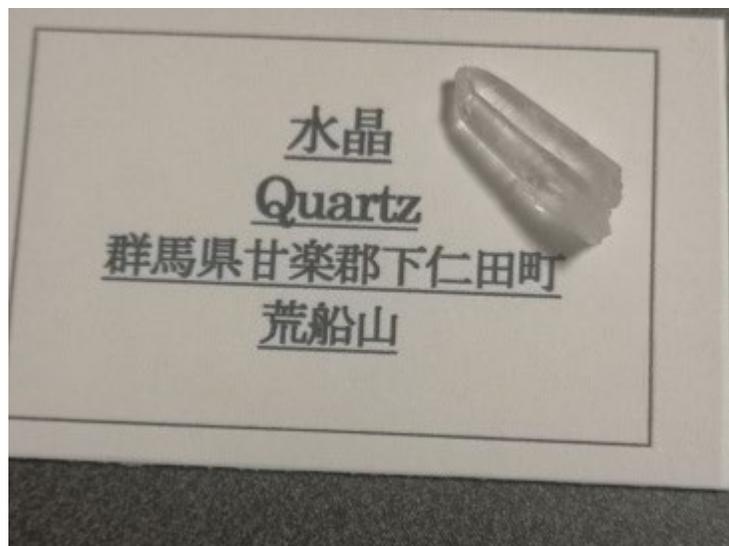
## ■ 参加児童の様子や意見、感想など

アンケートから、話の内容は少し難しかったが、ほとんどの子供が興味を持って話を聞き、観察や実験を楽しんでいました。半分くらいの参加者が鑑定用の石を持参しており(43人中25人)、それをOHPで写しながら何の石か説明したところ、持参してきた石が何かわかって喜んでいました。石を持参した子はもとより、持ってこなかった子も含めて、多くの子供が興味深く話を聞き、鑑定を楽しんで見ていました。

## ■ 企業・団体の気付きや感想など

中学校で勉強する内容が多いので、少し難しいとは思ったが、石好きの子ばかりだったので理解できた様子でした。

ただし、資料等にはもっと多くの用語にルビを入れる必要があったと反省しています。



水晶を参加者に配布しスケッチをした後、  
特徴を発表してもらいました。  
水晶はお土産として持ち帰ってもらいました。



左の写真のような方解石で複屈折を観察し  
てもらい、方解石の特徴を勉強しました。  
その後別のサンプルを使い、割って劈開  
(へきかい)の様子を観察し、最後に希塩  
酸をかけて、発泡しながら溶けてゆく様子  
を観察しました。

子供の  
感想

石に希塩酸をかけると  
泡立ったのが面白かった。